

第3回 海老名市保護者負担経費検討委員会概要

日 時：平成 29 年 11 月 27 日（月）

15：30～17：00

会 場：海老名市役所 7 階 705 会議室

出席者：【委員】

岡田委員長、秋山副委員長、市川委員、中村委員、瀧井委員、
吉崎委員、塩見委員、飛矢崎委員、宮原委員、竹島委員、金指委員、
奥泉委員

【教育委員会】

伊藤教育長、別府就学支援課副主幹、山本就学支援課係長、
大乘就学支援課主事

- 1 開会 委員長
- 2 挨拶 教育長
- 3 議題

（1）彫刻刀と柔道着について

【事務局より報告】

- ・彫刻刀の各小中学校へ、柔道着の各中学校への配備について

【意見】

- ・第2回の検討会では、レンタルが好ましいという話だったと思うが、学校管理物品として運用することになっており、方向性が異なるのではないか。
- ・海老名中学校は以前までは、学校管理物品として貸出をしていたが衛生面での不満からレンタルに移行させた。学校管理物品で運用していくなら、衛生面からは、生徒同士が着回しをしない形で実施できればと思う。具体的には、各中学校に学年分の柔道着を配備すれば、学年ごとで時期をずらして実施することで、一定期間は一人の生徒が1着を管理、使用できる。
- ・彫刻刀について、配備することで保護者負担の軽減となるのはいいが、2～3年後には切れなくなっているのではないか。そうであれば、従来の保護者負担でいいのではと思う。安全性には配慮してもらいたい。
⇒彫刻刀は子どもたちが使用しているものよりは上質で持ちの良いものの購入を考えている。材質がハイクラスとなっているため、研磨はできないものになっている。切れなくなった場合には教育委員会で新たに購入することになる。（事務局）
- ・教師サイドからも安全性が不安である。あとは切れ具合の確認を学校

で行うのは負担になると考えている。

- ・中学校では、美術の宿題で自宅で彫刻刀を使用することがあったが、その場合には貸出はしてくれるのか。

⇒美術での宿題は現状では出ている。時期をずらせば実施は可能だと思うが、評価があるので、多数の生徒は個人購入をするのではないかと考えている。(委員)

⇒学校サイドとの調整はできていないが、貸出は安全管理や万が一事故が起きた場合の責任等の問題があるため、学校で使用することを前提と考えている。(事務局)

- ・彫刻刀にはガードはついているのか。また、配備するのは個人購入の補助的な意味合いなのか。

⇒ガードは付いたものの配備を想定している。基本的には、学校に配備したものを使用してもらい、個人のものを使用したい場合にはそれは妨げないものと考えている。(事務局)

- ・安全面、衛生面からも所管でしっかり管理していきたい。(事務局)

- ・有馬中学校が購入と貸出とあるが、割合はどの程度か。

⇒ほとんどが購入していると聞いている。(事務局)

- ・柔道着について、着回しではなく、昔の白衣のように使用後は洗濯をして次の人へとはできないか。

⇒先ほど言ったように、学年分配備してもらえれば学年ごとで時期をずらして実施することで可能と考えている。(委員)

⇒柔道着の配備は、レンタルや個人購入を否定するものではなく、保護者（生徒）の選択肢を増やすことが負担軽減につながると考えている。レンタルも1か月1,200円かかり、3年間レンタルすると購入と大差がなくなる。レンタル料も負担になる保護者もいることから、学校管理物品として負担をなくすことが必要と考えている。

(事務局)

- ・現状で学校管理物品で運用している大谷中学校、今泉中学校の状況を実際に確認してきたが、非常に状態が良く、綺麗であった。柔道着においては、各校の保護者に貸出、レンタル、購入の選択肢があるということを確認してもらうことが必要と考える。(事務局)

- ・保護者アンケートでは80%の保護者が運用の見直しに賛成している結果が出ている。現状のままではダメということ。今回の彫刻刀、柔道着の配備にあたって、運用等で課題があればその部分の改善をしていくことが必要。今回の配備は、保護者に安心感をもってもらうため。保護者負担の軽減をアピールしていきたい。

- ・一般的な柔道着は洗濯すると重い。一晩で乾く柔道着もあると聞いている。

- ・彫刻刀は左利き用も必要となるので配備にあたっては配慮してほしい。
また、安全性についても配慮してほしい。
- ・切れ味は誰がチェックするのか。
⇒大人と子どもで切れ具合は異なっている。(副委員長)
⇒メンテナンス関係は学校ではなく、メンテナンス要員を配置してほしい。(委員)
- ・数量についても、同時期に異なる学年が使うため、2学年分の配備を希望する。

(2) 制服について

- ・学校間の価格差を減らすことについて検討

(3) ジャージ、運動着、上履きについて

- ・現状と今後の方向性の検討

【岡田委員長より】

- ・(2)(3)は同様の課題があるものと考えられますので、まとめてご意見いただきたい。

【事務局にて(2)(3)について現状等説明】

【意見】

- ・中学校の体育館は特別なワックスでも使っているのか。中学校では、上履きと体育館履きが兼用だが、小学校みたいな安い上履きではダメなのか。
⇒特に特別なワックスということはない。(委員)
⇒小学校と違って、動きが激しいからではないか。(委員)
⇒運動靴のほうが安全ではある。(委員)
- ・昔は上履きと体育館履きと別々だった。
- ・上履き、体育館履きを自由化したら、高額な靴を履いてくる子どもも出てくる。盗難が懸念される。
⇒バスケット部のシューズは高額なものが多い。外履きは自由になっている。
盗難については、学校が荒れていることが原因(いたずら)となる 경우가多く、金額の多寡ではない場合が多い。また、自由化したら外履きとの見分けがつかなくなるかもしれない。
- ・ジャージは海老名市は1社で取り扱っており、複数社でやれば安くなる。
学年カラーについては、生徒指導上で一定の役割がある。
- ・制服やジャージの入札は教育委員会や学校では実施しているのか。
⇒現状では実施していない。(事務局)
- ・制服について、大手が新規参入したいという話がきた。学校としては、良質のものであれば構わないと思っている。
- ・学校サイドから業者に参入してほしい旨のアプローチはできないか。
⇒ロットが小さいのでやたらと参入してこないのでは。

- ・海老名中学校では7～9月はジャージ登校を認めている。夏用ズボンを購入しなければ、制服代は抑えられる。
⇒今泉中学校は体育祭前の2週間はジャージ登校可。(委員)
- ・知り合いの教材業者から近隣市でジャージの入札があった(恐らく教育委員会ではなく、学校で)と聞いた。海老名ではできていない。価格競争が必要だと思う。
- ・制服を作れる業者がないから特定メーカーしか参入してないのか。新規参入を促すことはできないか。
⇒現状の取扱い業者が少ないような状況を解消できるか、価格競争をさせることができるかが重要である。(委員長)
⇒現状では、新規参入を募るような取組を行ったことはない。過去、学校によっては新規を認めていないこともあったらしい。実施してみたら、参入してくる業者があるかもしれない。やってみる価値はあると思う。
(教育長)
- ・各中学校では、制服のリサイクルを実施していると思うが小学校6年生の保護者にリサイクルのお知らせ等をしているか知っているなら教えてもらいたい。(事務局)
⇒今年は数が揃わず実施できなかった。小学校へは通知等はしていないが例年では、小学校6年生の保護者も来ている。海老名中学校では、リサイクル実施の目的は制服がサイズアウトしてしまった在校生のためとしている。(委員)
⇒大谷中学校は毎年大谷小学校に通知があり、小学校6年生にお知らせを配付している。(副委員長)
- ・有馬中学校の友人が制服等のリサイクル業を営んでいる。制服等が集まっておらず、広めたいと思っている。卒業生に周知したい。
⇒PTAとしては、学校(PTA)でやりたいという気持ちがある。PTAでも集まらない。(委員)
- ・子どものランドセルについて、PTAの行事の時に販売してみようと検討を行った。今年は実施しなかったが来年度以降は検討したい。小学校ではランドセルに関する何らかの取り組みはあるのか。
⇒特には実施していない。(副委員長)
⇒お祝いでもらうことも多いから手元に置いておく人が多いのでは。
(委員)
- ・新たなことも取り入れながら、保護者負担の軽減を進めたい。学校ごとの差も認識しながら取り組んでいくことが重要。(委員長)

(4) 今後の予定

- ・第4回検討委員会

1 月 22 日（月） 15 : 30～ 705 会議室

5 その他
特になし

6 閉 会 秋山副委員長